



1学期終業式 トーチが神山にやってきた7/20

1学期終業式。体育館いっぱいになって、1学期の振り返りと42日間ある夏休みの諸注意について、お話を聞きました。そのあとのなかよし会では、集団登校の反省もしました。今年神山は挨拶運動と、横断したとき止まってくださった車に最後尾の副班長がお礼をしています。地域の方からお礼のお電話があったり、褒めてくださる保護者がいたり…。保護者会ではお家の方からたくさんの温かい言葉がありました。1学期ありがとうございました。

校長は終業式で、東京2020オリンピックについて触れました。オリンピック精神「スポーツを通して心も体も強くする。」「国や文化の違いを乗り越え、世界中の人が友情・連帯感・フェアプレー精神を育む。」

そして、「選手も応援する私たちも、オリンピックを通して平和な世界について考えましょう。」と…今年の夏休みにはしかない57年ぶりの日本でのオリンピック。福井県からも17名の選手が出場します。テレビで、みんなでアスリートを応援しましょう。と話しました。

そして4校時の学活

広瀬郵便局様のご厚意で、オリンピックトーチ（聖火）が神山にやってきました。

教室にきたトーチを全校児童がひとりずつ持って、重さや大きさ確かめます。燃料が入っていない915グラムのトーチ、意外と重い、意外と軽いなどつぶやきながら、聖火ランナーのまねをしながら次の人にわたす子どもたちはきらきらした目と緊張顔でトーチリレーをしました。

